

事務事業評価調書

事務事業名	中央図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法 吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	中央図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が施設を安全に快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	中央図書館の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンス等を行い適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		35,524	33,829	37,299	32,543	60,086							
	人件費	職員数	1.10	1.10	1.10	1.10	1.16							
		総額(B)	9,188	8,843	8,987	8,690	9,341							
	総事業費(A+B)		44,712	42,672	46,286	41,233	69,427							
	(内訳)	特定財源(C)		804	707	804	2	1,731						
		国		0	0	0	0	1,707						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		43,908	41,965	45,482	41,231	67,696						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		43,908	41,965	45,482	41,231	67,696						
財源計(C+D)		44,712	42,672	46,286	41,233	69,427								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)他										
			②											
	主な委託内容		建物警備、清掃、機械設備保守											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	162,963.00	163,488.00	163,488.00
			実績値	(単位:人)	76,212.00	78,788.00	
			達成度(%)		46.8	48.2	
		目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.56	0.53
			一般財源(単位:千円)	0.55	0.53		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	651,852.00	653,952.00	653,952.00
			実績値	(単位:点)	402,895.00	395,205.00	
			達成度(%)		61.8	60.4	
		目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.11	0.11
			一般財源(単位:千円)	0.10	0.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の図書館として最初に建設されてから45年が経過し、その間に中央館として貴重な地域資料をはじめとした文化的価値のある資料の保存機能を担っている。現在では中央図書館の他に6つの地域館も建設されていて、片山地域の図書館として役割も果たしている。しかし、施設の老朽化をはじめとして、耐震化への対応、バリアフリー、ITなど時代に即した対応が出来なくなっていることから来館者から不満の声も聞かれる。早急に移設や建替えなどの再整備が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00950				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00950
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

中央図書館は、吹田市の図書館の中央館的機能を有しており、行事、講座等に対応できる集会室とともに、資料の保存機能として書庫を備えている。平成28年度には旧食堂を談話室として市民の利用に供し、休憩や交流の場として利用されている。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2) 各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3) 現状分析	<p>図書館が建設されてから45年を過ぎており、その間、開館日の増加などによりメンテナンスにかかる費用が増加してきた。また、施設面で経年劣化及びバリアフリーやITなどの時代に即した対応ができなくなっていることから、市民の快適な利用を阻害している。耐震の面でも、建物や設備の大規模改修の必要が生じてきているが、費用の増大が見込まれる。平成28年度には北側壁面塗装の大規模修繕を行い、維持管理に努めたが、空調の不具合がたび重なった。全面的な改修または建替えが必要である。平成29年度には、耐震診断を実施する予定であり、その結果を得て、具体的な検討を行う。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和53年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	千里図書館及び千里図書館北千里分室											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里図書館及び千里図書館北千里分室の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		463	367	428	334	392							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		2,134	1,975	2,062	1,914	2,003							
	特定財源(C)		0	0	0	0	1							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	1							
	市負担(D)		2,134	1,975	2,062	1,914	2,002							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	2,134	1,975	2,062	1,914	2,002							
財源計(C+D)		2,134	1,975	2,062	1,914	2,003								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)双葉化学商会										
			②											
			③											
	主な委託内容		北千里分室の機械警備他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	200,142.00	200,550.00	200,550.00	
			実績値	(単位:人)	212,466.00	223,401.00		
			達成度(%)		106.2	111.4		
	目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.01	0.01	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	800,568.00	802,200.00	802,200.00	
			実績値	(単位:点)	742,622.00	762,496.00		
			達成度(%)		92.8	95.1		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里図書館は、平成24年に新築の建物に移設されたことから、快適な読書環境を提供できている。千里ニュータウン地域の図書館として、利用実績は高い。一方千里図書館北千里分室は、昭和56年に児童対象の図書室として週3日(水・金・日)開室したが、近隣住民より強い要望があり大人向けの図書も貸出し、また開館日についても徐々に増やし現在は他の図書館と同様に毎日開館となっている。地域住民からはソフト及びハード面での拡充の強い要望が出ている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00951				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00951
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準で推移している。千里ニュータウンプラザへの移設により利用者は快適に利用できている。図書館施設の管理・補修は「千里ニュータウンプラザ施設管理事業」も利用し、また共用部分の利用・管理は、千里出張所等他の部局や施設と連絡を取り合って効率的に行っている。</p> <p>北千里分室は、閲覧室・事務室ともに手狭であり、利用要求に見合ったサービスができていない状況であり、千里ニュータウン北部の図書館として、施設の拡充が必要である。施設の管理は北千里公民館と連携・協力して行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	02	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		71,842	70,982	72,737	71,622	69,490							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		72,678	71,786	73,554	72,412	70,296							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		72,678	71,786	73,554	72,412	70,296							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		72,678	71,786	73,554	72,412	70,296								
財源計(C+D)		72,678	71,786	73,554	72,412	70,296								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	PFIにより実施												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	200,142.00	200,550.00	/
			実績値	(単位:人)	212,466.00	223,401.00	
		達成度(%)		106.2	111.4		
	目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.34	0.32		
			一般財源(単位:千円)	0.34	0.32		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:冊)	800,568.00	802,200.00	/
			実績値	(単位:冊)	742,622.00	762,496.00	
		達成度(%)		92.8	95.1		
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度までは10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.10	0.10		
			一般財源(単位:千円)	0.10	0.10		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準を示している。管理経費はPFI事業のため一定している。施設環境は、快適で一層の利用が見込まれる。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00952				

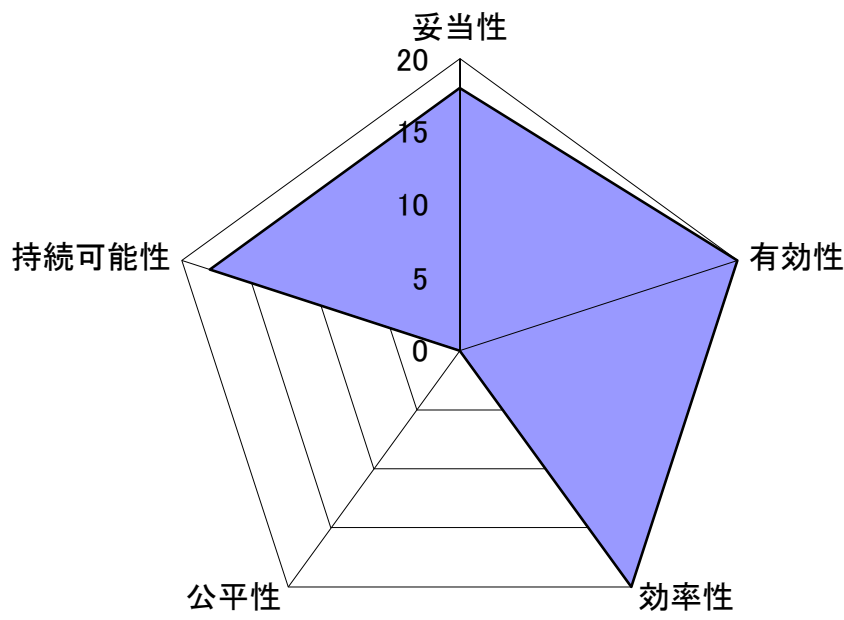
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
評価点合計 (100点満点)	95			

所属名	中央図書館	事務事業番号	00952
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準で推移している。管理経費についてはPFI事業のため一定している。施設環境は快適で、一層の利用が見込まれる。定期的に連絡会が開催され施設管理の情報共有を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	さんくす図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	さんくす図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設管理の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	さんくす図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンスを行い、適切な管理事業を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		49,973	49,791	50,406	50,089	49,752							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	5,012	4,824	4,085	3,950	4,026						
	総事業費(A+B)		54,985	54,615	54,491	54,039	53,778							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		54,985	54,615	54,491	54,039	53,778							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		54,985	54,615	54,491	54,039	53,778								
財源計(C+D)		54,985	54,615	54,491	54,039	53,778								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)他										
			②											
			③											
	主な委託内容		清掃他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	104,697.00	104,736.00	104,736.00
			実績値	(単位:人)	99,840.00	103,845.00	
			達成度(%)		95.4	99.1	
		目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.55	0.52	
	一般財源(単位:千円)			0.55	0.52		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	418,788.00	418,944.00	418,944.00
			実績値	(単位:点)	349,571.00	360,138.00	
			達成度(%)		83.5	86.0	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.16	0.15	
	一般財源(単位:千円)			0.16	0.15		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		JR以南地域の図書館施設として重要な役割を果たしている。平成26年度からは大阪市との広域利用を実施し、大阪市民の吹田商業施設の利用につながっている。施設管理経費の大半は建物の賃借に係る経費となっていて、平成27年度は共益費の値上がりにより増加しているが賃貸料の値下げ交渉を行うなど、これ以上の増大を招かないように努め、継続して施設管理を行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00953				

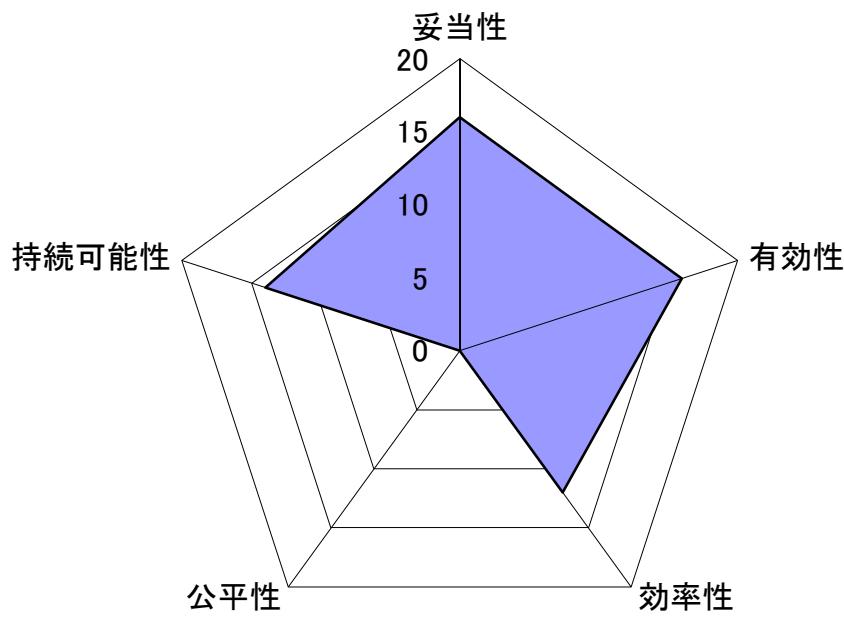
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00953
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅ビルに入居する施設であるため、事業費の大半は建物の賃借にかかる経費となっている。平成26年7月から共益費が改定され、また平成28年2月からは共用部分にICゲートを設置したためその使用料が発生した。そのため事業費は増加している。さんくす図書館の供用開始は平成5年からだが、建物自体は昭和54年の建築であり、老朽化が進んでいる。耐震補強改修工事が平成26年5月末に完了し、安全面の確保は図られた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	江坂図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	江坂図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理、メンテナンスによる良好な環境の維持 利用者が施設を快適に利用できる。また、施設の安全な長期利用を図る												
(7) 事業概要	江坂図書館の施設の維持、利用者の安全確保のためのメンテナンスの実施等、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,677	4,178	5,025	4,087	4,300							
	人件費	職員数	人	0.51	0.51	0.54	0.54	0.54						
		総額(B)	千円	4,260	4,100	4,412	4,266	4,349						
	総事業費(A+B)		8,937	8,278	9,437	8,353	8,649							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		8,937	8,278	9,437	8,353	8,649							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		8,937	8,278	9,437	8,353	8,649								
財源計(C+D)		8,937	8,278	9,437	8,353	8,649								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	松本設備サービス(株)他										
			②											
			③											
	主な委託内容		清掃他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	193,749.00	195,951.00	195,951.00
			実績値	(単位:人)	101,200.00	113,181.00	
			達成度(%)		52.2	57.8	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.08	0.08	
	一般財源(単位:千円)			0.08	0.08		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	774,996.00	783,804.00	783,804.00
			実績値	(単位:点)	376,748.00	408,760.00	
			達成度(%)		48.6	52.2	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標、平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.02	0.02	
	一般財源(単位:千円)			0.02	0.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		江坂地域の図書館として重要な役割を果たしており、必要性は増しているが、施設は狭隘で拡充が望まれている。また、築21年が経過し設備の老朽化が進んでいるが、その中でも修繕の必要があった空調設備については、平成27年度改修工事が行われ、市民が快適な環境で利用できるようになった。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00954				

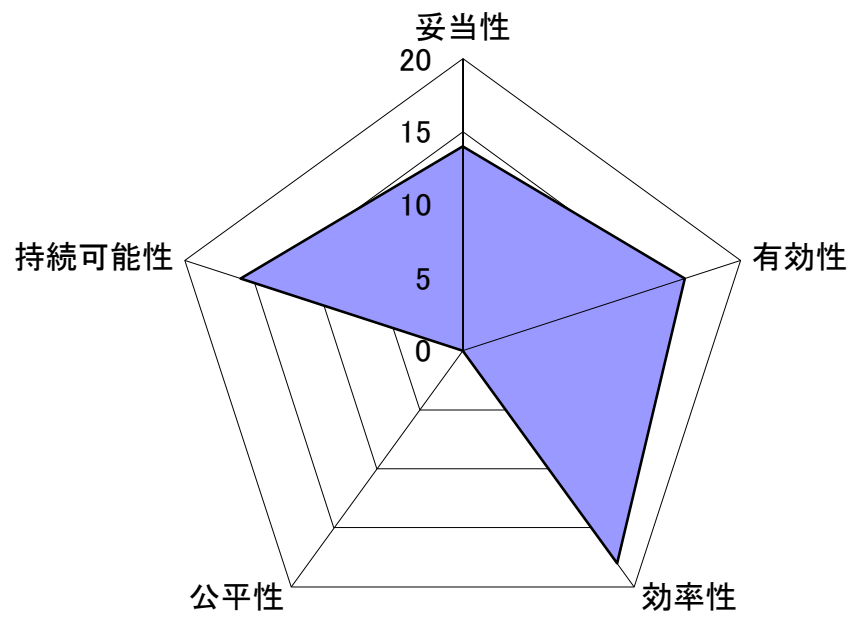
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00954
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>築後21年が経過し設備等の老朽化が進んでおり、便所等の修繕が頻発している。空調設備については平成27年度に改修工事を行い、市民が快適に利用できるようになった。施設が狭隘でゆったりとした読書環境が望まれている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山・佐井寺図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里山・佐井寺図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	05	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		32,343	29,981	39,987	35,981	31,372							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.90	0.90	0.90						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	7,353	7,110	7,247						
	総事業費(A+B)		40,695	38,020	47,340	43,091	38,619							
	特定財源(C)		24	38	31	17	31							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	24	38	31	17	31							
	市負担(D)		40,671	37,982	47,309	43,074	38,588							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		40,671	37,982	47,309	43,074	38,588								
財源計(C+D)		40,695	38,020	47,340	43,091	38,619								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)										
			②	松本設備サービス(株)										
			③											
	主な委託内容		警備・清掃											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	191,568.00	192,351.00	192,351.00
			実績値	(単位:人)	114,418.00	121,671.00	
			達成度(%)		59.7	63.3	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.33	0.36	
	一般財源(単位:千円)			0.33	0.36		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	766,272.00	769,404.00	769,404.00
			実績値	(単位:点)	493,264.00	516,741.00	
			達成度(%)		64.4	67.2	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.08	0.08	
	一般財源(単位:千円)			0.08	0.08		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里山・佐井寺地域の図書館として多くの市民に利用されている。中央図書館と同規模の図書館であると同時に、一般に開放している多目的施設は近隣住民の文化活動の場としての役割を果たしている。築後12年が経過し施設を長期的に活かすための修繕等の計画を必要としており、平成28年度には西館の木造壁面の塗装を行なった。				

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00955				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
評価点合計 (100点満点)	92			

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00955
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>供用開始から12年を経て、様々な修繕が必要となってきている。閲覧室のみならず多目的室等の貸室サービスにおいても、市民のニーズにこたえるため、備品の更新等が必要となっている。特に防災、防犯に関わる設備の修繕・更新は喫緊の課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田駅前図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	山田駅前図書館及び山田駅前図書館山田分室												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	施設の適正な管理による良好な施設環境の維持												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	山田駅前図書館及び山田分室の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンスを行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		17,043	16,113	16,795	15,643	16,035							
	人件費	職員数	人	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75						
		総額(B)	千円	6,264	6,030	6,128	5,926	6,039						
	総事業費(A+B)		23,307	22,143	22,923	21,569	22,074							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		23,307	22,143	22,923	21,569	22,074							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		23,307	22,143	22,923	21,569	22,074								
財源計(C+D)		23,307	22,143	22,923	21,569	22,074								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	東芝エレベーター(株)関西支社他										
			②											
			③											
	主な委託内容		昇降機保守											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	山田駅前図書館が入っている夢つながり未来館は指定管理を行っている。												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	128,241.00	127,566.00	127,566.00
			実績値	(単位:人)	172,465.00	179,855.00	
			達成度(%)		134.5	141.0	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.13	0.12	
	一般財源(単位:千円)			0.13	0.12		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	512,964.00	510,264.00	510,264.00
			実績値	(単位:点)	694,165.00	707,954.00	
			達成度(%)		135.3	138.7	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.03	0.03	
	一般財源(単位:千円)			0.03	0.03		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		山田分室は、昭和62年に山田地域の図書館として山田出張所の上に増築された。地域の図書館としては狭隘であることから、平成22年山田駅前の青少年拠点施設の中に山田駅前図書館が建設された。地域住民の強い要望により旧山田図書館は、山田駅前図書館の分室として存続することになり、地域に密着した図書室として根強い利用がある。一方山田駅前図書館は、駅前の好立地にあり青少年施設である青少年サポートプラザ、子育て支援施設であるのびのび子育てプラザと連携し多事業を実施し、多くの利用がある。施設管理については夢つながり未来館で一括で指定管理することにより経費の削減に努めている。山田分室は、平成22年度に施設の改修工事が行われ市民が快適に利用できるようになったが、施設のエレベーターについては平成28年の検査で既存不適格とされており、対策の検討が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00956				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00956
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>山田駅前図書館は山田地域の図書館施設として、夢つながり未来館の他の施設と連携しながら運営を行い、開館当初より多くの利用がある。また、山田分室は、高齢者や児童を対象に地域と密着した運営を行っており、図書館として地域から必要とされている。</p> <p>施設管理においては、山田駅前図書館は、夢つながり未来館の青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザと一体化した管理を行っている。平成26年度から、より効率的な業務を行い市民サービスの向上を図るべく、施設管理業務について指定管理者制度の導入を実施している。</p> <p>山田分室のエレベーターは、平成21年に行われた建築基準法施行規則及び建築基準法施行令の改正により、平成28年の検査において既存不適格と判断されたため対策を講じる必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里丘図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里丘図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里丘図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	07	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,718	5,960	6,597	5,909	5,980							
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70							
		総額(B)	千円	5,847	5,628	5,719	5,530							
	総事業費(A+B)		12,565	11,588	12,316	11,439	11,617							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		12,565	11,588	12,316	11,439							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		12,565	11,588	12,316	11,439									
財源計(C+D)		12,565	11,588	12,316	11,439	11,617								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪美装工業(株)										
			②	(株)ビケンテクノ他										
			③											
	主な委託内容		清掃・機械警備他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	121,170.00	123,924.00	109,221.00
			実績値	(単位:人)	103,495.00	109,221.00	/
		達成度(%)		85.4	88.1		
	目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.11	0.11		
			一般財源(単位:千円)	0.11	0.11		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	484,680.00	495,696.00
	実績値			(単位:点)	483,929.00	488,878.00	/
	達成度(%)		99.8	98.6			
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.02	0.02		
			一般財源(単位:千円)	0.02	0.02		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	平成24年度に千里丘地域の図書館として開館。市民から待ち望まれていた施設で、多くの利用がある。長期使用ができるように、今後も継続して施設の維持管理が必要である。緑化ボランティアによる屋上緑化の維持や、駐車場の有料化により経費の削減をしている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00957				

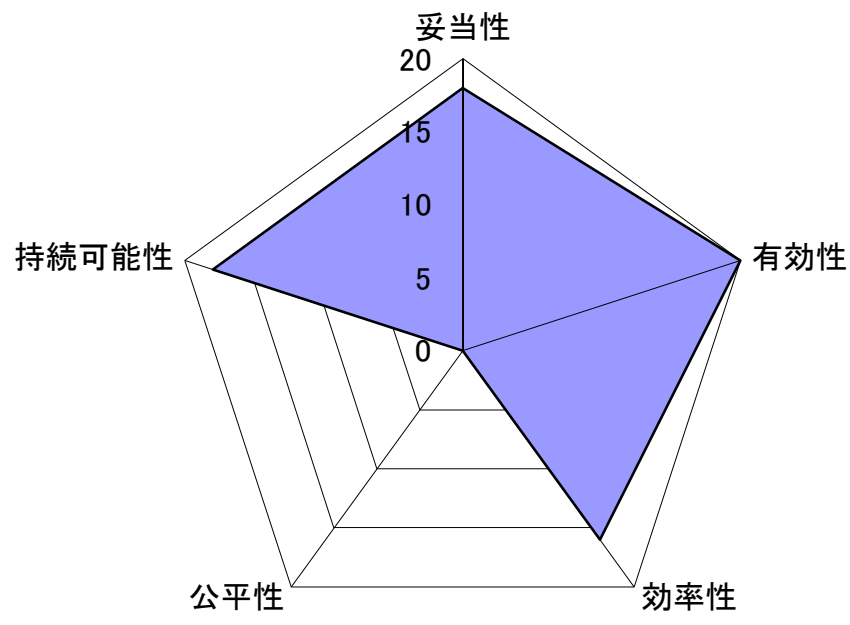
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00957
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里丘地域の図書館として、地域から待ち望まれた図書館であり、平成24年度の開館から多くの利用をいただいている。開館より5年目となるが、現在のところ修繕等の費用は発生していない。緑化ボランティアによる屋上緑地の維持や駐車場の有料化も継続して行い、経費の負担を軽減している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中央図書館運営事業				
担当部署	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の人												
	目標 (どうい状態にしたいのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	中央図書館及び自動車文庫1台で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。自動車文庫は、図書館利用に不便な地域である27か所に1か月に1回巡回して貸出する他、吹田市内の地域・家庭文庫、読書会、幼稚園、保育所、小学校、留守家庭児童育成室、中学校、老人福祉施設などに団体貸出を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		214,934	202,661	217,791	208,649	220,652							
	人件費	職員数	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00							
		人												
	総額(B)		66,816	64,312	65,360	63,200	64,416							
	総事業費(A+B)		281,750	266,973	283,151	271,849	285,068							
	特定財源(C)		563	466	559	371	470							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	563	466	559	371	470							
	市負担(D)		281,187	266,507	282,592	271,478	284,598							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		281,187	266,507	282,592	271,478	284,598								
財源計(C+D)		281,750	266,973	283,151	271,849	285,068								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	北港観光バス(株)										
			②	ヤマツーナッジ(株)										
			③											
			主な委託内容	自動車文庫運転・図書資料等搬送										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	全館の蔵書冊数	指標内容	目標値	(単位:冊)	1,000,000.00	1,000,000.00	/
			実績値	(単位:冊)	1,024,560.00	1,042,713.00		
			達成度(%)		102.5	104.3		
		目標値の積算方法	人口30万以上の都市貸出数上位10%の市町村の蔵書冊数平均値の近似値である100万冊	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.26	0.26	
	一般財源(単位:千円)			0.26	0.26			
	②	蔵書新鮮度	指標内容	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	8.22	8.28		
			達成度(%)		82.2	82.8		
		目標値の積算方法	受入数÷開架冊数×100	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32,478.47	33,092.87	
	一般財源(単位:千円)			32,421.78	33,048.07			
(2) 成果指標	①	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	指標内容	目標値	(単位:点)	651,852.00	653,952.00	/
			実績値	(単位:点)	365,620.00	356,018.00		
			達成度(%)		56.1	54.4		
		目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.73	0.77	
	一般財源(単位:千円)			0.73	0.77			
	②	レファレンス(相談件数)	指標内容	目標値	(単位:件)	3,055.00	3,483.00	/
			実績値	(単位:件)	3,483.00	3,983.00		
			達成度(%)		114.0	114.4		
		目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	76.65	68.79	
	一般財源(単位:千円)			76.52	68.70			
(3) が困難な場合	①	活動内容	図書館全体のサービスの統括、計画、立案			目標	図書館利用不便地域への図書館整備及び中央図書館再整備	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>片山・岸部地域の地域館としての役割だけでなく、本市の6つの地域館及び2つの分室の中心となる図書館として、図書館サービスの統括と企画・立案部分を担っている。また、地域資料(吹田市に関する資料、地域の人々が作った資料及び行政が発行する資料)を積極的に収集し、整理して保存、提供することで郷土の歴史を後世に残すとともに、地域の住民の生活に役立てている。</p> <p>書庫には約17万冊の資料を収蔵し、千里山・佐井寺図書館とともに、図書館の資料保存の機能を果たしている。これらの資料を背景に全館のレファレンスサービス(相談業務)の支援を行っている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00958				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00958
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」及び「吹田市立図書館基本構想」に基づき、子供に本を読む喜びを知ってもらうよう、子供の読書環境を整備するため小中学校を中心に連携を進めている。団体貸出、図書館見学、読書相談や調べもの学習への対応、職場体験などいろいろなサービスを行っている。読書啓発を目的とした学校訪問(ごりまる学校訪問)、もうよんだかなセット(年度毎に作成している司書が推薦する新刊を案内した冊子に掲載された図書を学年別にセットにしたもの)の学期ごとの貸出や、図書館のホームページに図書館の取り組みを紹介する学校支援のページの作成、自動車文庫による団体貸出の配達(ごりまる便)を平成26年度には月1回から2回に増やすなど、学校にとって図書館を利用しやすい環境を整え、学校支援を続けている。平成27年度には図書館空白地区の岸部地区に自動車文庫の駐車場3か所を新設した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>中央図書館は、企画立案を行い全館の運営事業の統括を行っている。最寄駅からの距離や、建物の老朽化などから来館者数の増加は期待できないが、書庫を含めた蔵書数は25万冊を超え、その資料をバックボーンとする相談業務は受付件数も多く、また全館の相談業務への支援を行っている。中央図書館の機能として地域資料の網羅的収集と保存、また、ボランティアの育成とともに、職員が学校や保育園等に出かけていく出前講座等、読書推進活動の中心的役割を担っている。施設面においては、築45年を経過していることから耐震やバリアフリーにも未対応であり、本市市立図書館の中核をなす館として施設面やサービス面で多くの課題を抱えているため、今後建替えの検討が急がれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和53年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の個人、団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする												
(7) 事業概要	千里図書館及び北千里分室で事業を実施。年末年始を除き、毎日午前10時から午後6時まで(千里図書館は木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスをしている。その他、千里図書館の特色あるサービスとして、市民の多文化理解と在住外国人の読書環境の充実を目指して外国語資料や、日本語を学ぶための資料を収集、保存して提供を行い、外国人との交流の場を設けるなどの多文化サービスを行っている。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		44,894	44,651	44,278	44,210	44,029							
	人件費	職員数	人	5.26	4.46	5.06	5.06	5.06						
		総額(B)	千円	43,932	35,854	41,341	39,974	40,744						
	総事業費(A+B)		88,826	80,505	85,619	84,184	84,773							
	特定財源(C)		52	42	57	48	54							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	52	42	57	48	54							
	市負担(D)		88,774	80,463	85,562	84,136	84,719							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		88,774	80,463	85,562	84,136	84,719								
財源計(C+D)		88,826	80,505	85,619	84,184	84,773								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		図書館窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	6.42	6.68		
		達成度(%)		64.2	66.8			
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年を目途に蔵書の入替を行う	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12,539.72	12,807.04	
				一般財源(単位:千円)		12,533.18	12,799.85	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	800,568.00	802,200.00	/
			実績値	(単位:点)	739,546.00	757,865.00		
			達成度(%)		92.4	94.5		
		目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.11	
	一般財源(単位:千円)					0.11	0.11	
	②	指標内容	レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	7,229.00	6,718.00	/
			実績値	(単位:件)	6,718.00	5,371.00		
			達成度(%)		92.9	79.9		
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.98	15.93	
	一般財源(単位:千円)				11.98	15.92		
(3) が困難な場合	①	活動内容	多文化サービスに取り組み、外国語資料、絵本を多数収集している。また外国語での絵本の読み聞かせなどを、市内大学生ボランティアや留学生等の協力により実施している。			目標	在住外国人の読書環境の充実と市民の多文化理解を深める	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里図書館及び北千里分室は、千里ニュータウン地域の図書館として多くの利用者で賑わっている。高齢化によるシニア世代の増加が著しいニュータウン地域だが、マンションの建て替えなどにより子育て世代の人口が増えているが、千里ニュータウンプラザ内に移転し、施設が新しくなったことで、子育て世代の利用も増えており今後も多くの利用が見込まれる。北千里分室は、駅周辺のマンションの建て替えで若い世代が増えているが、施設は狭隘で今以上のサービス展開ができないことから、地域の住民から拡充の要望が出ており、現在北千里駅周辺の活性化をめぐる議論の中で検討を行っている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00959				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

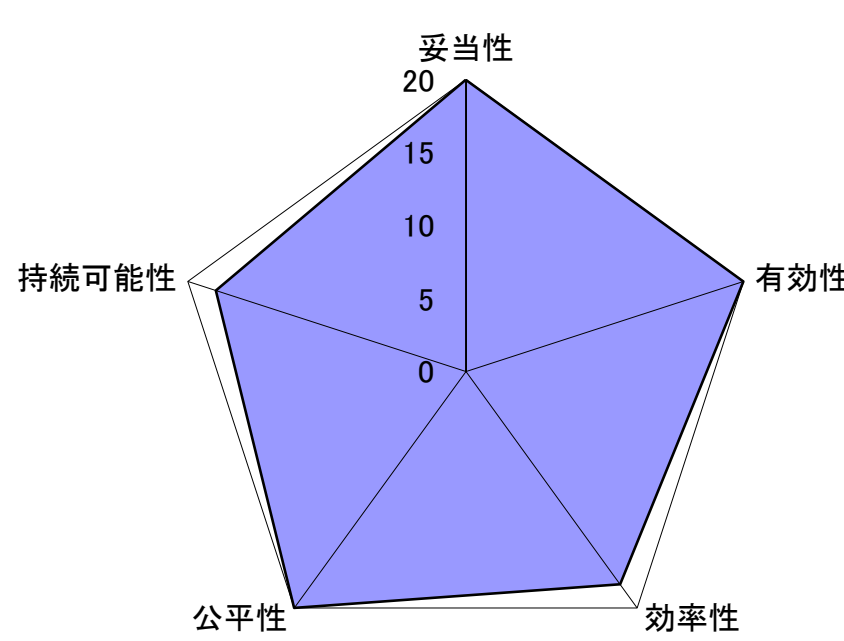
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00959
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館が設置されている千里ニュータウンプラザ内には、公民館の他、平和祈念資料館や吹田市国際交流協会、市民公益活動センター等市民生活に必要な様々な施設が入っており、資料の案内・提供や講師の紹介等連携・協力を行っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館及び北千里分室は、千里ニュータウン地域の図書館として市民の暮らしに役立つサービスを行っている。千里図書館は、専用の相談カウンターを設け、平成25年8月の窓口業務一部委託に伴い市職員の窓口業務を相談業務に絞ることにより、レファレンスサービス(相談業務)が市民に定着しつつある。吹田市立図書館の中で貸出が一番多い。また、多文化サービスを特色としており、吹田市国際交流協会が同じ施設内にあることから日本語を学ぶ外国人への援助や外国人との交流の場として今後の取り組みが期待される。北千里分室は、閲覧室、事務室とも手狭で、利用要求はあるが、それに見合ったサービスができていない状況である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	さんくす図書館運営事業				
担当部署	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内在住、在勤、在学の者											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	さんくす図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等の資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別に児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	03
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		40,711	40,710	39,322	39,336	39,321							
	人件費	職員数	3.90	3.90	3.00	3.00	3.00							
		総額(B)	千円	32,573	31,353	24,510	23,700	24,156						
	総事業費(A+B)		73,284	72,063	63,832	63,036	63,477							
	(内訳)	特定財源(C)		47	45	48	34	48						
			国	0	0	0	0	0						
			府	0	0	0	0	0						
		その他	47	45	48	34	48							
	(内訳)	市負担(D)		73,237	72,018	63,784	63,002	63,429						
			地方債	0	0	0	0	0						
			その他	0	0	0	0	0						
	一般財源	73,237	72,018	63,784	63,002	63,429								
財源計(C+D)		73,284	72,063	63,832	63,036	63,477								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)図書館流通センター大阪支社											
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出、返却等窓口業務											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	6.09	6.26	
		達成度(%)		60.9	62.6		
	目標値の積算方法 受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で入替を目標にしている	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11,833.00	10,199.04		
			一般財源(単位:千円)	11,825.62	10,193.61		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	418,788.00	418,944.00	/
			実績値	(単位:点)	348,588.00	358,788.00	
		達成度(%)		83.2	85.6		
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.21	0.18		
			一般財源(単位:千円)	0.21	0.18		
	②	指標内容 レファレンス(相談)件数(平成28年度実績値は簡易なものを除く)	目標値	(単位:件)	4,283.00	4,315.00	
実績値			(単位:件)	4,315.00	1,950.00		
達成度(%)		100.7	45.2				
目標値の積算方法 前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	16.70	32.74			
		一般財源(単位:千円)	16.69	32.72			
(3) が困難な場合	①	活動内容	吹田市の就労支援事業であるJOBなび、JOBカフェと連携し、就労支援として資格取得のためのテキストや就職のための情報を提供している。	目標	就労を支援する		
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		JR以南地域の図書館として、立地の良さを生かして幅広いサービスを展開している。近くの市施設との連携し、地域の特色を生かした運営で市民に親しまれている。駅前の立地であることから夜間の利用も多い。また、バスターミナルに近く、視覚障がい者の方が利用しやすいことから対面朗読の回数が多い。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00960				

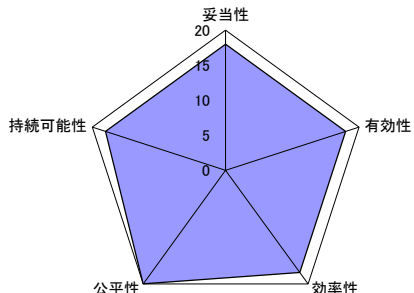
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00960
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>JR以南地域の図書館であるさんくす図書館は、駅や商店街に隣接しており買い物客等が利用しやすい図書館である。また、交通利便性が高く障がい者の利用も多い。立地の良さを生かし、地域の特性に合わせた資料の提供を行い、乳幼児から高齢者や障がい者のニーズに応じたサービスを行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	江坂図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の個人及び団体											
	結果(どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。												
(7) 事業概要	江坂図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	04
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,245	5,203	5,166	5,134	21,260							
	人件費	職員数	4.16	4.16	4.16	4.16	4.16							
		総額(B)	34,745	33,443	33,988	32,864	33,497							
	総事業費(A+B)		39,990	38,646	39,154	37,998	54,757							
	特定財源(C)		44	35	45	37	32							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	44	35	45	37	32							
	市負担(D)		39,946	38,611	39,109	37,961	54,725							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		39,946	38,611	39,109	37,961	54,725								
財源計(C+D)		39,990	38,646	39,154	37,998	54,757								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:%)	7.49	7.69		
		達成度(%)		74.9	76.9			
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料の入替を行う。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,159.68	5,087.39	5,082.57
				一般財源(単位:千円)		5,155.01	5,082.57	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	774,996.00	783,804.00	783,804.00
			実績値	(単位:点)	374,743.00	406,650.00		
		達成度(%)		48.4	51.9			
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.10	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.10	
	②	指標内容	レファレンス相談件数	目標値	(単位:件)	895.00	1,712.00	2,789.00
実績値			(単位:件)	1,712.00	2,789.00			
達成度(%)			191.3	162.9				
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		22.57	14.03	
	一般財源(単位:千円)				22.55	14.01		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		ビジネス街やマンションが隣接している豊津・江坂・南吹田地域の図書館として、通勤者や家族連れの利用が多い。中でもブックスタート事業への参加者が他の図書館に比べ圧倒的に多く、地域の子育て支援の中心としての役割も果たしている。また、8月と2月を除き毎月市民との協働で行われる江坂ロビーフェスタには多くの人が訪れていることから、図書館利用への潜在的な要求は高い。しかし、施設は狭隘であり、閲覧席も少なく、親子が靴を脱いでゆったりと絵本を楽しむコーナーなどないことから拡充が望まれている。平成29年度中に窓口等業務委託を導入し、アウトソーシング計画を実施する。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00961				

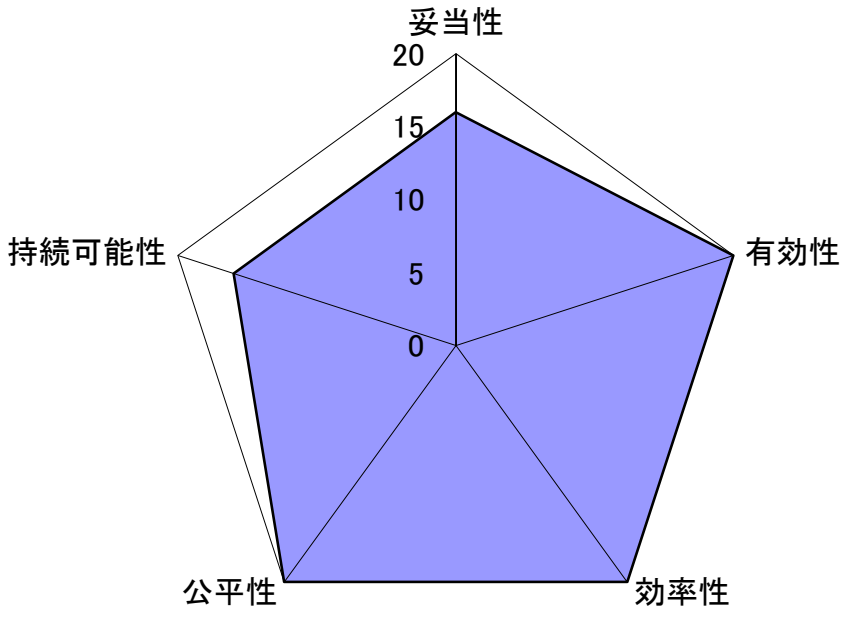
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		⑤持続可能性	16	
		⑥持続可能性	16	
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00961
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ビジネス街やマンションが隣接している豊津・江坂・南吹田地域の図書館として、通勤者や近隣に住む幼児とその家族連れの利用が多い。市民との協働で舞踊や演奏会を実施している江坂ロビーフェスタは通算128回を数え、地域の方から親しまれ、市民が文化に触れる良い機会となっている。ビジネス関連書やデータベースを提供して通勤者にビジネス支援を行っている。隣接する大阪市との広域連携が要望されている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山・佐井寺図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	05
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		40,543	41,692	39,183	39,186	38,887							
	人件費	職員数	人	4.05	4.05	3.50	3.50	3.50						
		総額(B)	千円	33,826	32,558	28,595	27,650	28,182						
	総事業費(A+B)		74,369	74,250	67,778	66,836	67,069							
	特定財源(C)		47	36	42	35	42							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	47	36	42	35	42							
	市負担(D)		74,322	74,214	67,736	66,801	67,027							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0								
	その他	0	0	0	0	0								
	一般財源	74,322	74,214	67,736	66,801	67,027								
財源計(C+D)		74,369	74,250	67,778	66,836	67,069								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター 大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出業務、返却業務などの窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	5.96	5.79	
			達成度(%)		59.6	57.9	
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	12,458.05	11,706.56	
				一般財源(単位:千円)	12,452.01	11,700.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	766,272.00	769,404.00	/
			実績値	(単位:点)	490,535.00	513,312.00	
			達成度(%)		64.0	66.7	
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.15	0.13	
				一般財源(単位:千円)	0.15	0.13	
	②	レファレンス(相談件数)	目標値	(単位:件)	7,510.00	8,606.00	
実績値			(単位:件)	8,606.00	7,389.00		
達成度(%)			114.6	85.9			
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8.63	9.17		
			一般財源(単位:千円)	8.62	9.17		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里山・佐井寺地域の図書館として貸出やレファレンス及びインターネット用端末の利用を通して、仕事や暮らしに役立つ情報を提供している。所蔵冊数も図書館の中で一番多く、ゆったりとした空間のある滞在型図書館であることから市民に親しまれている。西館には地域の団体に貸出している多目的室等の貸室があるが、そこで活動しているグループが図書館行事に参画するなどその活動成果を還元し、図書館が地域交流の場となっている。大規模な書庫があり、中央図書館と並び資料保存機能を有している。				

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00962				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00962
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里山・佐井寺地域は古くからの住宅と新築マンションが混在しており、未就学児から小中学生の児童数も多い地域である。CDやDVDを所蔵し、大規模書庫を有するため、市内全域からの来館者も多い。ゆったりとした広い閲覧室は滞在型図書館として市民に親しまれている。また、多目的室等を貸室として市民の利用に供しており、積極的に活用されている。障がい者サービスの拠点館として、音訳・点訳ボランティアの養成講座も行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田駅前図書館運営事業				
担当部署	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在学、在勤の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。												
	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。													
(7) 事業概要	山田駅前図書館及び山田分室で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	06
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		68,712	68,711	66,283	66,454	64,181							
	人件費	職員数	5.96	5.96	5.96	5.96	5.96							
		総額(B)	49,778	47,913	48,694	47,084	47,990							
	総事業費(A+B)		118,490	116,624	114,977	113,538	112,171							
	(内訳)	特定財源(C)		30	43	39	40	39						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		30	43	39	40	39							
	(内訳)	市負担(D)		118,460	116,581	114,938	113,498	112,132						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		118,460	116,581	114,938	113,498	112,132						
財源計(C+D)		118,490	116,624	114,977	113,538	112,171								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)図書館流通センター 大阪支社											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
			②											
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	0.00	
			実績値	(単位:%)	6.47	6.07		
			達成度(%)		64.7	60.7		
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架の蔵書を入れ替える	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18,025.35	18,970.02	
				一般財源(単位:千円)		18,018.70	18,963.43	
			達成度(%)					
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:点)	512,964.00	510,264.00	510,264.00	
			実績値	(単位:点)	692,185.00	706,511.00		
			達成度(%)		134.9	138.5		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.17	0.16	
				一般財源(単位:千円)		0.17	0.16	
			達成度(%)					
②	指標内容	目標値	(単位:件)	6,347.00	6,071.00	5,322.00		
		実績値	(単位:件)	6,071.00	5,322.00			
		達成度(%)		95.7	87.7			
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	19.21	21.64		
		一般財源(単位:千円)	19.20	21.63				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		山田駅前図書館は、駅前という交通利便の良い場所に建設されたこと、のびのび子育てプラザ、青少年活動サポートプラザが同じ施設内にあることから、相乗効果によりあらゆる世代が利用している。開館から6年が経過し、連携事業も軌道に乗り、定期的な絵本の読み聞かせなどの新たな取組みも増えている。山田分室は、地域に密着した図書室として、子供や高齢者を対象にサービスを展開している。地域の根強い要望に支えられ個人貸出の利用は変わらずにある。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00963				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00963
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成22年度末に青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの連携を目指して、夢つながり未来館内に山田駅前図書館としてオープン。駅前にあり、新しいマンションに囲まれた地域であり、世代を問わず利用されている。貸出冊数、利用人数などの利用状況は高水準を保っている。青少年活動サポートプラザとの連携ではぶらっとる一むに通う青少年の就労支援をしている。のびのび子育てプラザとの連携事業としては、「ひとりのびのび読書タイム」「えほんのひろば」も定着し好評を得ている。山田分室は、子どもや高齢者や子どもを中心に地域に密着した運営を行っており、変わらぬ利用がある。また、近隣に学校が複数あり団体貸出を通して連携している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里丘図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	千里丘図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	07
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		38,761	38,820	36,087	36,089	36,087							
	人件費	職員数	人	3.05	3.05	3.00	3.00							
		総額(B)	千円	25,474	24,519	24,510	23,700							
	総事業費(A+B)		64,235	63,339	60,597	59,789	60,243							
	(内訳)	特定財源(C)		12	15	13	12							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		12	15	13	12							
	(内訳)	市負担(D)		64,223	63,324	60,584	59,777							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		64,223	63,324	60,584	59,777							
財源計(C+D)		64,235	63,339	60,597	59,789	60,243								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)図書館流通センター 大阪支社											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
			②											
			③											
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00	
			実績値	(単位:%)	8.09	6.83		
			達成度(%)		80.9	68.3		
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,829.30	8,872.47	
				一般財源(単位:千円)		7,827.44	8,870.72	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:点)	484,680.00	495,696.00	495,696.00
	実績値			(単位:点)	483,451.00	487,935.00		
	達成度(%)			99.7	98.4			
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.13	0.12	
				一般財源(単位:千円)		0.13	0.12	
	②	レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	3,092.00	2,824.00	2,307.00	
実績値			(単位:件)	2,824.00	2,307.00			
達成度(%)			91.3	81.7				
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		22.43	26.27		
			一般財源(単位:千円)		22.42	26.26		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	JR線に近い図書館であり、千里丘地域の住民からの長年に渡る要望により、平成25年1月に開館して以来、住民に親しまれている。千里図書館、千里山・佐井寺図書館に続き個人貸出の利用が多い。近隣小学校等との連携、市民の作品展示など地域に密着したサービスを展開している。地域では近年マンション建設や宅地の開発が行われ、今後も人口の増加によって図書館利用も多くなると思われる。						

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00964				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

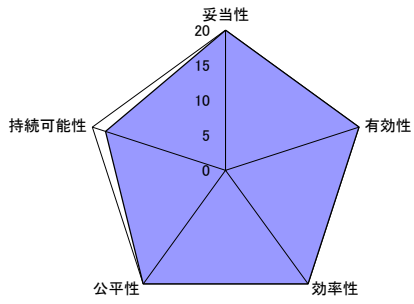
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00964
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年5月より開始した摂津市との広域連携による相互利用は、両市の市民の利便性の向上に重要な役割をはたしている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年1月に千里丘地域の図書館として開館して以来、多くの利用がある。調査・相談カウンターでは、日常生活や仕事で遭遇する課題について地域住民が気軽に相談できるようにしている。子育て中の世代には、親子で読書の楽しさを知ることを目指し、絵本コーナーの充実や、子供の年齢に合わせた行事を開催している。小学校等からの図書館見学の受け入れや近隣施設への出前講座、文化スポーツ推進室との連携講座、市民の作品展示などを開催し、地域との交流を重ねている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者への対面朗読等サービス事業				
担当部署	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住の障がい者、文字情報取得困難者											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	文字情報の取得困難な障がい者に対し、録音図書(カセットテープ及びデジタイズ図書など)、点字図書の貸出並びに対面朗読サービスを実施する。												
	結果 (どのような効果を得られるのか)	障害の有無に関わらず、市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館で、ボランティアの協力を得ながら録音図書(カセットテープ及びデジタイズ図書など)及び点字図書を製作し、郵送による障がい者への貸出を行っている。また、発達障がい児等の利用を想定して製作されたマルチメディアデジタイズの貸出や普及に向けた取り組みを行っている。その他に対面朗読(音訳ボランティアが利用者と向かい合って利用者の読みたい資料を朗読する)サービスを分室を除く7つの図書館で実施している。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	08
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,577	1,291	1,881	1,795	1,494							
	人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.03	1.03	1.03						
		総額(B)	千円	9,188	8,843	8,416	8,138	8,294						
	総事業費(A+B)		10,765	10,134	10,297	9,933	9,788							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		10,765	10,134	10,297	9,933	9,788						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		10,765	10,134	10,297	9,933	9,788						
財源計(C+D)		10,765	10,134	10,297	9,933	9,788								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	録音図書所蔵タイトル数	指標内容	目標値	(単位:タイトル)	3,571.00	3,610.00	3,705.00	
			実績値	(単位:タイトル)	3,510.00	3,605.00			
			達成度(%)		98.3	99.9			
	②	前年度比100タイトル増	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.89	2.83	
					一般財源(単位:千円)		2.89	2.83	
					達成度(%)		0.0	0.0	
	(2) 成果指標	①	録音図書の貸出タイトル数	指標内容	目標値	(単位:タイトル)	2,957.00	3,284.00	3,395.00
				実績値	(単位:タイトル)	3,284.00	3,368.00		
				達成度(%)		111.1	102.6		
		②	過去10年の最大値	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.09	3.03
一般財源(単位:千円)							3.09	3.03	
達成度(%)						77.1	77.5		
(3) が指標で場合示す	①	対面朗読利用回数	指標内容	目標値	(単位:回)	840.00	840.00	840.00	
			実績値	(単位:回)	648.00	651.00			
			達成度(%)		77.1	77.5			
	②	1館月10回×12か月×7館 ※分室には対面朗読室を配置していない	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15.64	15.69	
					一般財源(単位:千円)		15.64	15.69	
					達成度(%)		77.1	77.5	
(4) 総合評価	①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況			
		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
		評価の説明	録音図書及び点字図書の製作については、全国の点字図書館や公共図書館の動向を見ながら製作が重ならないように図書を選び、ボランティアにより毎年100タイトルを目指して製作している。音訳図書の貸出や対面朗読の実績は全国的にも優れている。 本事業は、文字情報が取得困難な市民にも読書と情報のアクセスを保障する公共性の高い事業であり、平成28年4月からの「障害者差別解消法」の施行に合わせ、今後も様々な障がいを持つ市民のニーズに合わせた事業を継続して実施することが必要である。特に、来館が困難な障がい者への図書の郵送貸出などの事業を進めていく必要がある。映画を音声で楽しむシネマデージーや映像を伴ったマルチメディアデージーの貸出を行い新しいメディアにも対応している。平成28年度にはデージー図書の再生機の貸出を全館で開始し、デージー図書の利用を促進している。						

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	障がい者への対面朗読等サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00965				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00965
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>録音図書の作成・貸出、対面朗読については、利用が多く全国的に見ても高い水準に位置している。デジタル図書の普及を図るため、再生機器であるプレクストークの利用体験及び貸出を開始した。また、弱視の方や学習障がいのある方に有効なマルチメディアデジターの利用体験を行っている。やさしく読める本を集めたLLブックコーナーを開設した。サービスをより一層PRするため、障がい者団体、ボランティアとの交流会を開催するなど、連携に努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者サービスボランティア養成事業				
担当部署	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年度	改正内容	図書館法の改正への対応											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	公立図書館の設置及び運営の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	障がい者サービス関わるボランティア活動をしようとする市民												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民が技能を習得し、障がい者サービスボランティアとして対面朗読、音訳図書、点字図書の作成等の活動に参加する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ボランティア活動の機会や場所の提供することで市民の社会参加を促すことができる。また、これにより障がい者サービスの継続的提供が可能になる。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館で図書館の障がい者サービスに携わる各種ボランティアを養成するとともに、ボランティアの技能向上のためのスキルアップ講座を実施する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	09
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		568	568	668	668	668							
	人件費	職員数	人	0.85	0.85	0.60	0.60	0.60						
		総額(B)	千円	7,100	6,834	4,902	4,740	4,832						
	総事業費(A+B)		7,668	7,402	5,570	5,408	5,500							
	特定財源(C)		298	298	349	349	349							
	(内訳)	国	199	199	233	233	233							
		府	99	99	116	116	116							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		7,370	7,104	5,221	5,059	5,151							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	7,370	7,104	5,221	5,059	5,151							
財源計(C+D)		7,668	7,402	5,570	5,408	5,500								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 障がい者サービスボランティア養成講座実施回数	目標値	(単位:回)	46.00	48.00	48.00
			実績値	(単位:回)	48.00	48.00	
		達成度(%)		104.3	100.0		
	目標値の積算方法 実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		154.21	116.04	
			一般財源(単位:千円)		148.00	108.77	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 録音図書所蔵タイトル数	目標値	(単位:タイトル)	3,571.00	3,610.00
	実績値			(単位:タイトル)	3,510.00	3,605.00	
	達成度(%)		98.3	99.9			
	目標値の積算方法 前年度比100増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.11	1.55	
			一般財源(単位:千円)		2.02	1.45	
	②	指標内容 障がい者サービス登録ボランティア人数	目標値	(単位:人)	193.00	204.00	221.00
実績値			(単位:人)	204.00	221.00		
達成度(%)		105.7	108.3				
目標値の積算方法 前年度比増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		36.28	25.20	
	一般財源(単位:千円)			34.82	23.62		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>本事業は、市民の読書と情報へのアクセスを保障する障がい者サービスを支えるボランティアを養成する事業である。録音図書や点訳図書の製作機器のデジタル化により、高度な技能が必要である。高齢や家庭の事情等により活動が続けられないボランティアも増えており、対面朗読や音訳、点訳図書を製作する事業等を継続するための担い手を生み出す大切な事業である。また、市民にボランティアとしての技能を学ぶ機会を提供することで、社会参加の機会を提供している。「障害者差別解消法」の施行により、継続がますます重要な事業といえる。</p>					

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	障がい者サービスボランティア養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00966				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00966
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>音訳・対面朗読、点訳ボランティアは高度な技能習得が要求され、それに対応した養成講座を定期的で開催している。終了した受講生は、即戦力として、対面朗読や音訳・点訳図書製作に携わっている。また、より一層多様化した利用者のニーズに対応するため、スキルアップ講座を開催している。近年ベテランのボランティアの高齢化が顕著であり、新たなボランティアを補充していくために養成講座の継続が不可欠となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ブックスタート事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	平成19年度から5年間の取り組みを踏まえて課題等を整理											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、吹田市子ども読書活動推進計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住の赤ちゃん(4か月以上1歳の誕生日まで)とその保護者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	絵本を通じて親子のきずなを深め、赤ちゃんの心豊かな成長を応援する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	子どもの読書活動の推進を図り、子どもの将来の読書力の向上に寄与する。また、子育てに不安を抱く保護者を支援する。													
(7)	事業概要	市内全図書館と自動車文庫で、赤ちゃんとその保護者に絵本を1冊プレゼントする。対象者への案内は、母子手帳に掲載されているほか、4か月健診、乳児後期健診の案内に同封して送付している(保健センター担当)。また、中央図書館で「ブックスタートのためのお話ボランティア養成講座」を開催し、講座を修了されたボランティアによる絵本の読み聞かせやわらべうた、手遊びに親しむ「ブックスタートのひろば」を平成16年1月から全館で実施している。													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	11
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,668	2,480	2,598	2,588	2,598							
		人件費	職員数	人	0.90	0.90	0.92	0.92	0.92						
			総額(B)	千円	7,517	7,236	7,517	7,268	7,408						
		総事業費(A+B)		10,185	9,716	10,115	9,856	10,006							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		10,185	9,716	10,115	9,856	10,006							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	10,185		9,716	10,115	9,856	10,006									
財源計(C+D)		10,185	9,716	10,115	9,856	10,006									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 絵本の配布冊数	目標値	(単位:冊)	3,512.00	3,464.00	0.00
			実績値	(単位:冊)	3,000.00	2,949.00	
			達成度(%)		85.4	85.1	
	目標値の積算方法	当該年度の対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.24	3.43
				一般財源(単位:千円)		3.24	3.43
	②	指標内容 ブックスタートのひろば実施回数	目標値	(単位:回)	1,190.00	1,190.00	1,190.00
実績値			(単位:回)	1,203.00	1,221.00		
達成度(%)			101.1	102.6			
目標値の積算方法	140回×(7館1分室)+70回×1分室	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.08	8.28	
			一般財源(単位:千円)		8.08	8.28	
(2) 成果指標	①	指標内容 ブックスタートのひろば参加率	目標値	(単位:%)	200.00	200.00	200.00
			実績値	(単位:%)	224.20	274.00	
			達成度(%)		112.1	137.0	
	目標値の積算方法	参加対象乳児数(参加人数÷2)÷該年度対象者数×100 ※対象乳児が2回以上参加する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		43.34	36.88
				一般財源(単位:千円)		43.34	36.88
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>子どもの読書離れが進む中、子どもたちが本に親しみ読書の習慣を持つ環境を整備することは、大変重要であり、本市でも生涯学習課が中心となり関係部局により平成19年に策定し、平成25年に改訂した「子ども読書活動推進計画」の中でもその必要性について論じている。ボランティアグループの協力で実施している「ブックスタートのひろば」には毎年多数の参加者がある。短期的に具体的な成果を示せる事業ではないが、長期的な視点に立った時、この事業は子どもの読書力の向上に大きく寄与するものであると考える。また孤立しがちな現代の保護者のために、子育て支援の面でも貢献するものとなっている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	ブックスタート事業	事業区分	その他
事務事業番号	00967				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

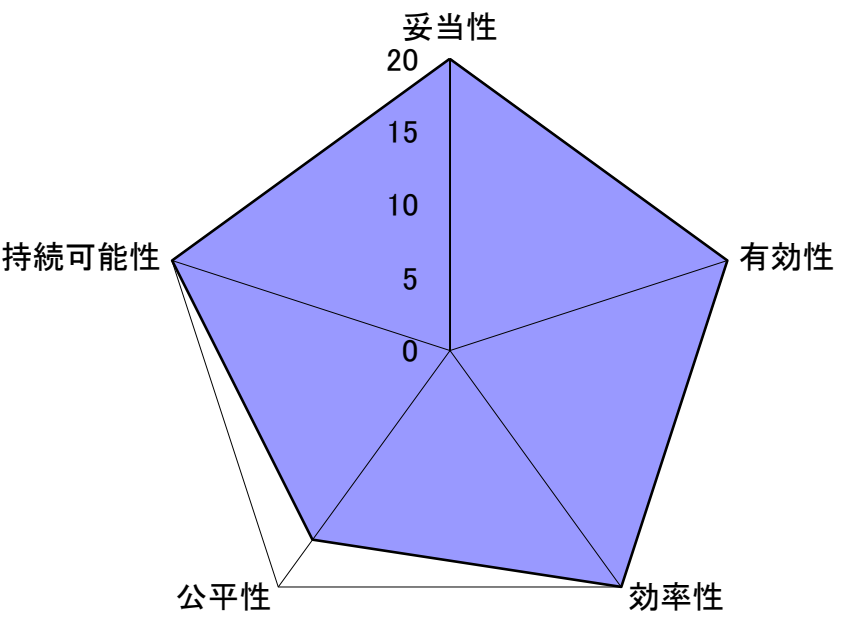
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00967
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「ブックスタートのひろば」の発展事業として、対象年齢を2～3歳児に上げた「おひざで絵本」を実施している。そのためのボランティアも養成するなど、図書館と市民との協働による読書環境整備がすすんでいる。絵本の配布については、子育て支援課と保健センターの協力を得ている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>赤ちゃんが読書に親しむ契機となる事業であるとともに、保護者にとっても、赤ちゃんとの関わりを深める一助となっている。また、絵本を配布する際には、ブックスタートのひろばを案内することで継続的な図書館利用へいざなっている。</p> <p>ブックスタートのひろばに参加する保護者にとっては、赤ちゃんをとおして他の保護者との交流を育むなど親子の居場所となっている。加えて各館で「抱っこで絵本講座」を実施し、ブックスタート以後の個別に読書に親しむ環境づくりも支援している。</p> <p>絵本の配布率については、100%を目指して、子育て支援課や保健センターと連携して取り組んでおり、一時低下したが、現在は80%以上を維持している。今後も100%を目指して様々な工夫を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、同法に基づき、国は平成14年に「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」を策定、平成18年度までの概ね5年間にわたる施策の基本方向と具体的方策を明らかにした。その後、府においては平成15年に、吹田市においては平成19年に「子ども読書活動推進計画」を策定した。平成20年には第2次の計画が閣議決定され、大阪府も平成23年に第二次基本計画を策定し、本市においても平成25年3月に「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」を策定した。

事務事業評価調書

事務事業名	主催行事事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	図書館法の改正等に対応											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	各種行事を通じて本や図書館に親しみ、図書館利用を促進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	読書、子供の成長ならびに子供の本に関心のある人向けの「子どもと本の講座や吹田市に関係した講師や関連する事柄をテーマとする「図書館講座じゅずつなぎ」及びビブリオバトル等を通じ、市民に本の世界をより深く知ってもらおう行事を実施している。また、「子どもと本のまつり」や人形劇、紙芝居など子供向け行事や読書についての意見交換等を通じてふだん図書館を利用しない子供たちにも図書館に足を運んでもらう取組みを行っている。また、全館で、定期的に絵本の読み聞かせや、お話し会、講座を実施している。その他、職員が選んだその年のおすすめ本を紹介した冊子を小学生向けと中高生向けに作成し夏休みの前に配布するとともに、全館でコーナーを設置し紹介している。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		871	825	905	795	905							
	人件費	職員数	4.50	4.30	4.34	4.34	4.34							
		人												
	総額(B)		37,584	34,568	35,458	34,286	34,946							
	総事業費(A+B)		38,455	35,393	36,363	35,081	35,851							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		38,455	35,393	36,363	35,081	35,851						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		38,455	35,393	36,363	35,081	35,851								
財源計(C+D)		38,455	35,393	36,363	35,081	35,851								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 主催行事参加延人数(後援事業を除く)	目標値	(単位:人)	27,570.00	24,867.00	24,044.00
			実績値	(単位:人)	24,867.00	24,044.00	
			達成度(%)		90.2	96.7	
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.42	1.51	
				一般財源(単位:千円)	1.42	1.51	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出延利用者数	目標値	(単位:人)	889,453.00	880,096.00	929,962.00
			実績値	(単位:人)	880,096.00	929,962.00	
			達成度(%)		98.9	105.7	
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.04	0.04	
				一般財源(単位:千円)	0.04	0.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		子供たちの興味、関心に合った行事を企画開催したり、市民の参加意欲を刺激する講座を開催することで、図書館の活動をアピールする等、様々な文化や知識に触れる場を提供し市民の生涯学習の推進につなげている。子供向けの行事については、市民との協働が活発に行われ、ボランティアの図書館事業への参加による自己実現につながっている。大人向けの行事では座学だけでなく、運動講座を開催したり、書庫見学デーを設けるなどして、市民が図書館に親しみを持ち、生涯学習の幅を広げ図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	主催行事業	事業区分	その他
事務事業番号	00968				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00968
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

YAサポーター、図書館フレンズ等の市民ボランティアが行事の実施の補助として参加している。市民の交流の場と自己実現の場として利用されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子どもたちの興味、関心に合った行事を開催したり、市民の参加意欲を刺激する講座を開催することで、図書館の存在をアピールする等、様々な文化や知識にふれる場を提供し市民の生涯学習の推進につなげている。子ども向けの行事については、市民との協働が活発に行われ、専門ボランティアの図書館事業への参加による自己実現につながっている。成人向けの行事では、座学だけでなく運動講座や書庫見学デーを設けるなどして、市民が図書館に親しみを持ち、生涯学習の幅を広げ、図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。特にスポーツ推進室と連携した運動講座は普段図書館利用をしない方への図書館のアピールができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館協議会活動事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、吹田市立図書館協議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	図書館の運営											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	図書館運営について、市民の意見を反映させる												
(7) 事業概要	年3回協議会を開催し、図書館の運営について意見を述べるとともに、館長の諮問に対して答申を行うほか、運営について外部評価を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	02	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		188	162	188	157	188							
	人件費	職員数	人	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11						
		総額(B)	千円	919	885	899	870	886						
	総事業費(A+B)		1,107	1,047	1,087	1,027	1,074							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,107	1,047	1,087	1,027	1,074							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,107	1,047	1,087	1,027	1,074								
財源計(C+D)		1,107	1,047	1,087	1,027	1,074								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	協議会実施回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	協議会予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		349.00		352.00
				一般財源(単位:千円)		349.00	352.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) の3が困難な場合を示す		①	活動内容	図書館の運営について意見を述べるとともに年度ごとの活動について評価を行う。	目標		図書館奉仕について意見を述べる。年度ごとに外部評価を行う。	
	成果内容			「中央図書館の再整備のあり方(答申)」をホームページで公開。平成27年度外部評価実施。「平成27年度(2015年度)吹田市立図書館点検・評価報告書」としてホームページで公開。	達成状況		「中央図書館の再整備のあり方(答申)」、平成27年度の吹田市立図書館点検・評価報告をホームページで公開。	
	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	(4) 総合評価	評価の説明		行政として多様化する市民の要求を把握し、外部意見を取り入れ運営に反映していく必要があることから、協議会の設置は妥当であり今後も継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館協議会活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00969				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00969
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館協議会は、図書館行政の諮問機関という性質上、有効性、効率性についての評価は難しい面がある。内容としては、図書館の運営について意見を提出する他、平成25年度より運営についての外部評価を実施してもらうなど図書館の運営に必要な存在となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

図書館法に基づき図書館の設置及び運営上の望ましい基準が改正され、図書館協議会による評価等の努力目標が加えられた。
 ※図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月19日文科科学省告示第172号)
 第二の一の1の(二)運営の状況に関する点検及び評価等の2「図書館協議会の活用その他の方法により、(中略)評価を行うよう努めるものとする。」
 同(五)図書館協議会の1「市町村教育委員会は、図書館協議会を設置し、地域の実情を踏まえ、利用者及び住民の要望を十分に反映した図書館の運営がなされるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	図書館の広域連携(相互利用)事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市在住の個人												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	生涯学習環境の整備												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	多様化する市民一人一人の生涯学習を支援し、資料の有効活用を図る												
(7) 事業概要	市民及び本市に隣接する市の市民が相互に図書館を利用できるようにする。平成23年に豊中市と協定を結び相互に3館ずつの利用を、平成25年には4館ずつに増やして試行した。平成26年には、さんくす図書館を大阪市民が利用できるようにした。なお、吹田市民は大阪市の図書館全館を利用できる。平成27年には千里丘図書館を摂津市民が、摂津市民図書館を吹田市民が利用できるようにした。平成29年7月1日より北摂地区の公立図書館7市3町の広域利用を開始する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	12
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	191	187	346							
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.35	0.35	0.35							
		人												
	総額(B)		0	0	2,860	2,766	2,819							
	千円													
	総事業費(A+B)		0	0	3,051	2,953	3,165							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		0	0	3,051	2,953	3,165						
地方債		0	0	0	0	0								
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		0	0	3,051	2,953	3,165								
財源計(C+D)		0	0	3,051	2,953	3,165								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先		①									
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託		主な委託内容		②									
					③									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		①									
					②									
					③									
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 豊中市、大阪市及び摂津市民の延利用者数	目標値	(単位:人)	8,468.00	15,611.00	19,348.00
			実績値	(単位:人)	15,611.00	19,348.00	
			達成度(%)		184.4	123.9	
	目標値の積算方法 前年比増 ※大阪市とは平成26年7月から、摂津市とは平成27年5月から実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.16	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.16	
	②	指標内容 豊中市、大阪市及び摂津市民への貸出数	目標値	(単位:点)	24,517.00	40,879.00	45,453.00
実績値			(単位:点)	40,879.00	45,453.00		
達成度(%)			166.7	111.2			
目標値の積算方法 前年比増 ※大阪市とは、平成26年7月から、摂津市とは平成27年5月から実施。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.07	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.07	
(2) 成果指標		①	指標内容 吹田市民の豊中市の延利用者数	目標値	(単位:人)	10,949.00	12,388.00
	実績値			(単位:人)	12,388.00	12,102.00	
	達成度(%)			113.1	97.7		
	目標値の積算方法 前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.25	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.25	
	②	指標内容 吹田市民の豊中市の図書館での貸出冊数	目標値	(単位:点)	31,159.00	33,127.00	32,882.00
実績値			(単位:点)	33,127.00	32,882.00		
達成度(%)			106.3	99.3			
目標値の積算方法 前年比増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.09	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.09		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		図書館施設及び資料の有効活用の面からも、事業の必要性が増している。豊中市、大阪市だけでなく平成27年5月から摂津市とも広域連携の協定を結び、6月から摂津市民が千里丘図書館を、吹田市民が摂津市民図書館を利用できるようになった。これまで、貸出対象としていなかったDVDについても平成28年2月から広域利用の対象としたため、今後利用増が見込める。なお、現在は試行として、協定書を交わして3市で実施しているが、北摂7市3町のすべての図書館で相互利用ができるように広域利用の推進について協議を重ね、平成29年7月1日より実施する。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館の広域連携(相互利用)事業	事業区分	その他
事務事業番号	00970				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00970
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年5月に吹田市と摂津市で広域連携の協定を結び、これにより摂津市民が吹田市の千里丘図書館を、吹田市民は摂津市民図書館を利用することができるようになった。摂津市民への貸出数は吹田市民が摂津市民図書館で借出す冊数の3倍以上である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年5月から実施(試行)し、平成27年4月に試行期間の延長を行った豊中市との広域利用は、千里中央にある豊中市立図書館が交通至便のため、豊中市民の吹田市立図書館利用よりも吹田市民の豊中市立図書館利用が多く、貸出量のアンバランスの解消が課題となっていたが、平成28年度からはこれまで対象としていなかった、DVDの貸出を開始し利用増となった。</p> <p>大阪市との広域利用は、平成26年7月から実施(試行)し、好評である。東淀川区在住の大阪市民の利用が多く、順調に増加している。また拡大の要望もある。</p> <p>摂津市との広域利用は、平成27年5月から実施(試行)し、大変好評である。摂津市民の利用が多く、順調に増加している。</p> <p>以前より協議を重ねてきた北摂7市3町の全ての図書館を相互利用できる広域連携の本格実施が平成29年7月1日からスタートする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館コンピュータシステム整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が使いやすい図書館システムの構築 市民のインターネットによる検索の他、図書館利用の24時間化、簡便化及びスピード化を図るとともに図書館システム利用による業務の効率化を図る。												
(7) 事業概要	昭和58年から図書館資料の貸出、返却、データ管理を行い、平成13年にはインターネットから蔵書検索ができるシステムを導入した。平成16年度にはインターネットからの予約サービスを導入し、利用者が図書館資料にアクセスしやすい環境を整えている。平成28年2月のシステム更新では、IC機器を導入し、自動貸出機、自動返却機及び盗難防止ゲートを設置し、貸出・返却が利用者自身で迅速にできるようになり利便性が向上している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	10
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		72,752	70,081	74,987	75,061	69,813							
	人件費	職員数	人	3.17	3.17	3.12	3.12	3.12						
		総額(B)	千円	26,476	25,484	25,491	24,648	25,123						
	総事業費(A+B)		99,228	95,565	100,478	99,709	94,936							
	特定財源(C)		76	7,998	74	93	79							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	7,900	0	0	0							
		その他	76	98	74	93	79							
	市負担(D)		99,152	87,567	100,404	99,616	94,857							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		99,152	87,567	100,404	99,616	94,857								
財源計(C+D)		99,228	95,565	100,478	99,709	94,936								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ホームページの更新件数	目標値	(単位:件)	1,680.00	1,680.00	1,680.00	
			実績値	(単位:件)	1,708.00	1,534.00		
			達成度(%)		101.7	91.3		
	目標値の積算方法 月140件×12か月 ※平成25年度までは月100件×12か月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		55.95	65.55		
			一般財源(単位:千円)		51.27	65.49		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 ホームページアクセス件数	目標値	(単位:件)	2,015,633.00	1,965,325.00	1,140,837.00	
			実績値	(単位:件)	1,965,325.00	1,140,837.00		
			達成度(%)		97.5	58.0		
	目標値の積算方法 前年度比増 ※但しトップページのアクセス件数のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.05	0.09		
			一般財源(単位:千円)		0.04	0.09		
	②	指標内容 WEB予約数	目標値	(単位:件)	606,529.00	643,994.00	763,754.00	
実績値			(単位:件)	643,994.00	763,754.00			
達成度(%)			106.2	118.6				
目標値の積算方法 前年度比増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.15	0.13		
				一般財源(単位:千円)		0.14	0.13	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		システム更新に合わせて、課題であったデジタルコンテンツの提供と公衆無線LANの整備をおこなった。平成26年度から準備を進めてきたIC機器の導入計画についても、システム更新と合わせ、自動貸出機や自動返却及び盗難防止ゲート(BDS)を設置した。100%近くの利用者がこれらの機器を利用しており、以前よりも貸出や返却にかかる待ち時間が短縮され、利便性は向上していると考えられる。また、ホームページを更新し使いやすくなった。今後も、高齢者や身体に障がいがある方など、機器の利用に不慣れな利用者層に対してはきめ細かなサポートを行うと共に、導入した機器を最大限に有効に活用できるようサービス向上に向けた改善を行っていく。ホームページのアクセス数については大幅減となっているが、システム更新以後件数の集計方法に変更があったためと考えられる。蔵書検索画面のアクセス数は増加している。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館コンピュータシステム整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01104				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01104
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

行政におけるコンピュータ利用としては、本庁のシステムに次いで高度なシステムを運用しており、情報提供から蔵書検索及び予約申し込みまで、現在の図書館サービスの根幹を支える事業であり、最近ではツイッターやフェイスブック等のSNSの活用を含め、情報アクセスのポータル役割を果たしている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (レーダーチャート)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>図書館コンピューターシステムの導入により、利用者にとっては、家や外出先から図書館の蔵書検索、予約、利用状況の確認ができる他、新システム更新後は、地域の写真や、新聞記事見出しデータなども登録され、地域資料のデータベースとしても、より便利に活用してもらえるようになった。事業費については、調達時に、必要機器台数を精査することで費用の圧縮に努めた。また、レシート広告やバナー広告の募集に取り組み経費削減に努めている。新システム更新後は、ICタグ関連機器の導入で利用者の利便性やプライバシー保護が向上し、蔵書管理の効率化も図れている。図書館ホームページもリニューアルされ、地域に関する情報、子育て支援に関する情報など、より体系的に分かりやすく情報発信できるようになった。ホームページのアクセス数が減少しているが、集計方法に変更があったためと考えられる。また、事業当初と比較して図書館の館数の増加やICタグ等の導入のため事業費は増大している。ICタグの導入により、事務の軽減化を図ることから市の負担は増えない見込みである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

図書館法の改正や、社会情勢の変化に伴い、平成13年に告示された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年に改正された。電子資料の作成、収集及び提供並びに外部情報に入手等、情報サービスの充実について言及されている。

事務事業評価調書

事務事業名	図書館網の整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館基本構想							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市内の図書館網を整備する						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民がより良い環境で生涯学習を享受できる。							
(7)	事業概要	図書館利用不便地域に図書館を整備するとともに、現在狭隘など課題のある図書館の拡充整備を行う。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	中央図書館の再整備、(仮称)健都ライブラリーの整備、江坂図書館及び北千里分室の拡充について関係部局に働きかけを行う。		目標	中央図書館の移設、(仮称)健都ライブラリーの整備、北千里分室、江坂図書館の拡充	
	②	成果内容	課題であった岸部地域の図書館整備は(仮称)健都ライブラリーとして平成28年度に基本設計を実施した。		達成状況	(仮称)健都ライブラリーの基本設計開始	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		図書館不便地域である岸部地域への図書館整備については、図書館の長年の課題となっていたが、(仮称)健都ライブラリーとして平成28年度に基本設計を開始した。また、中央図書館については図書館協議会より「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出された。施設の老朽化が進むとともに、耐震化への対応が延長されていることから、平成29年度実施の耐震診断の結果を以って、大規模改修の結論を出す必要がある。北千里分室については、駅前の再整備に合わせて話し合いがなされており、継続して関係部局への働きかけを行う必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館網の整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01346				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

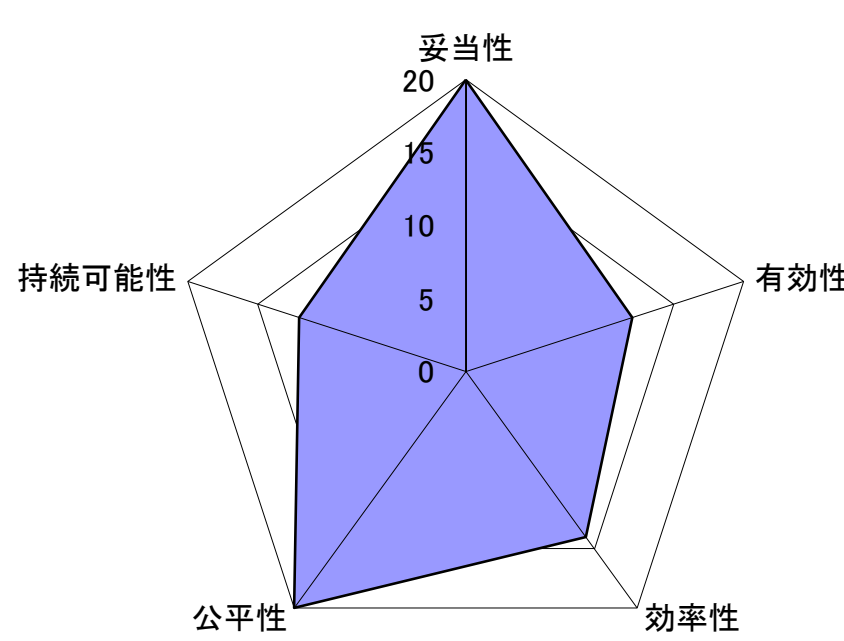
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01346
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成26年度図書館協議会において「中央図書館再整備のあり方(答申)」が出された。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>図書館空白地域であった岸部地域については、(仮称)健都ライブラリーとして基本設計を行っている。図書館協議会において「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出され将来を見越した新しい図書館像が提示された。北千里地域については、平成28年3月に策定された「北千里駅周辺活性化ビジョン」により再整備の方向性が示され関係部局とともに公共施設の検討を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館資料の充実事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
(2) 直近の改正	平成24年度							
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在学、在勤の者					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	幅広い図書の購入により市民の知的要求に応える						
	結果 (どのような効果を得られるのか)	市民の生涯学習意欲の向上と生涯学習環境の整備						
(7) 事業概要	市民一人当たりの図書費を300円として図書の購入を行い所蔵資料の充実を目指す。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	図書購入費	目標値	(単位:円)	108,002,100.00	110,856,600.00	110,856,600.00	
			実績値	(単位:円)	61,800,699.00	62,754,330.00		
			達成度(%)		57.2	56.6		
	②	市の人口×300円	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			目標値の積算方法					
(2) 成果指標	①	賞出点数	目標値	(単位:点)	4,320,084.00	4,434,264.00	4,434,264.00	
			実績値	(単位:点)	3,543,194.00	3,640,172.00		
			達成度(%)		82.0	82.1		
	②	人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度までは、人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			目標値の積算方法					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		図書館活動にとって命ともいえる図書館資料の充実に対する要求は、年々多様化し高度化してきている。図書館では平成25年度から図書の購入に入札制度を取り入れるなど、より多くの資料購入ができるようになってきた。今後も、国や府の補助金等などの活用をして図書資料の充実に取り組む必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館資料の充実事業	事業区分	その他
事務事業番号	01348				

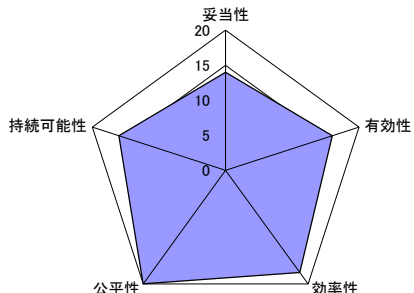
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01348
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>通常の図書購入に加え、平成22年度の地域活性化交付金、平成22年度以降の新館建設に伴う図書購入により、目標数値である100万冊の蔵書を達成できた。今後、蔵書の新鮮度を向上させることが市民の学習活動に直結するため大変重要な課題となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北摂図書館相互貸借事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成5年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の人						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市、豊中市及び箕面市の蔵書の有効活用						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	多様化する市民の資料要求に応えることにより、生涯学習活動に寄与する。							
(7)	事業概要	吹田市、豊中市及び箕面市の3市間における図書の相互貸借事業。市内の図書館に所蔵していないリクエストされた図書を、他市の図書館から借り受け、市民に提供している。3市の図書館間の図書の運搬業務については、3週間ごとにローテーションを組んで3市それぞれが負担している。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 担当運搬回数	目標値	(単位:回)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:回)	17.00	16.00		
			達成度(%)		106.3	100.0		
	目標値の積算方法	予定担当運搬回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 3市間における借受冊数	目標値	(単位:冊)	2,372.00	2,510.00	2,457.00
	実績値			(単位:冊)	2,510.00	2,457.00		
	達成度(%)			105.8	97.9			
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(3) が困難な場合	②	指標内容 3市間における貸出冊数	目標値	(単位:冊)	1,732.00	1,462.00	1,512.00
実績値				(単位:冊)	1,462.00	1,512.00		
達成度(%)				84.4	103.4			
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	吹田市、豊中市及び箕面市がそれぞれ所蔵していない資料を相互利用することで、資料の有効活用を図り、利用者の多様な資料要求に迅速に対応している。資料費の有効活用の点からもこの事業の必要性は増している。						

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	北摂図書館相互貸借事業	事業区分	その他
事務事業番号	01349				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01349
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年度に北摂地区7市3町の広域利用がスタートするが、予約制度がないため今後もこの取組みは必要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民の多様な資料要求に迅速に対応するとともに、図書館資料の有効活用を図っている。この事業は、各市が互いに配本を担当する体制で維持されており、本市では配本業務を総務室の車両担当の協力を得て図書館員が随行する形で行っている。今後はより効率的、効果的な環境の整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子どもたちに読ませたい100冊の本事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	平成23年度までの5年間の事業推進状況を踏まえ、読書活動の更なる充実めざして今後の推進計画を策定した。					
(2)	直近の改正	平成25年度							
(3)	根拠法令等	吹田市子ども読書活動推進計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市に在住、在学の児童生徒						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	児童生徒の読書活動を促進する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童生徒の読書環境を豊かにする							
(7)	事業概要	本に親しむ環境づくりを行うため、市民委員の参加する選定委員会で選定された100冊の本を全図書館に設置し貸出を行う。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 児童書購入冊数	目標値	(単位:冊)	11,351.00	10,980.00	10,286.00	
			実績値	(単位:冊)	10,980.00	10,286.00		
			達成度(%)		96.7	93.7		
	目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 児童書貸出件数	目標値	(単位:冊)	1,239,363.00	1,297,223.00	0.00
	実績値			(単位:冊)	1,297,223.00	1,337,396.00		
	達成度(%)			104.7	103.1			
	目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		児童の貸出数は増加傾向にあり、読書推進の取り組みが根付いてきていることが成果となって表れている。事業は当初の予定では5年毎の改訂を予定していたが、リストに上がっている良書の出版状況は安定しており、10年をめぐりに改訂していく。						

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	子どもたちに読ませたい100冊の本事業	事業区分	その他
事務事業番号	01350				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01350
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

子ども読書活動推進計画の取組を市民にアピールするうえで重要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成21年に冊子を発行して以来、子どもの本を選ぶ際の参考として利用されている。全館でコーナーを設置して啓発に努めている。当初は、5年毎に改訂の予定をしていたが、良書の出版状況は安定していること、児童書の場合において基礎的な図書については変更がほとんどないことから、見直しの期間を延長し10年としている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中央図書館改修事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	02	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中央図書館												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	施設環境の良好な維持												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が施設を安全に使用できるよう、適切な改修を行う。													
(7)	事業概要	前回改修から20年以上を経過し、劣化した北側壁面の塗装をすることにより、雨水の浸水を防ぐ。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	7,600	6,221	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
		総事業費(A+B)		0	0	7,600	6,221	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	7,600	6,221	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	7,600	6,221	0								
財源計(C+D)		0	0	7,600	6,221	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	図書館が建設されてから45年が経過し、施設の経年劣化が激しく、来館者の安全な利用や施設の保全のために改修を行なう。		目標	施設壁面の塗装工事を行い、壁からの雨水の浸水を防ぐ。	
	②	成果内容	北側外壁改修工事を行った。		達成状況	北壁を塗装し、浸水を防ぐことができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		施設の老朽化が激しく早急に移設建替えが必要であるが、それまでの期間、図書館として施設を維持するためには、設備の補修が必要である。平成28年度に北側外壁改修工事を行い、北側壁面からの雨水の浸水を防ぐことができた。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01640				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01640
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>中央図書館は施設や設備の老朽化や、バリアフリーに対応していないことなどから早急な移設建替えが必要であるが、それまでの間は修繕により施設を維持し、利用者の安全と資料を守ることが必要である。近年、外壁面の劣化が激しく、書庫の外壁面からの雨水の浸水により資料の保存機能が損なわれつつあったが、北側壁面塗装工事により浸水を防ぐことができた。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)